



# 情報ネットワーク学科 カリキュラムの特色と大学院教育

## 学科カリキュラムの評価で「A+」

(平成15年度「産業競争力向上の観点からみた大学活動評価手法」に基づく調査、株式会社三菱総合研究所・学校法人河合塾)  
「Web応用技術系」「ネットワークソフトデベロッパー・メンテナンス」の領域における人材育成に対し、優れたカリキュラムを設置しているとして「A+(全国大学の上位5%以内)」の評価を受けました。

## CG-ARTS協会認定教育校

(平成20年度 財団法人画像情報教育振興協会(CG-ARTS協会))  
メディア系の教育体系が整ったカリキュラムであることを評価され、「CG-ARTS協会認定教育校」の認定を受けるに到りました。デジタルコミュニケーション分野における、より質の高い人材の育成・輩出を行っていきます。



## JABEE認定プログラムへの申請準備

(平成22年度申請予定 日本技術者教育認定機構)

情報ネットワーク分野における専門性を高めた情報通信社会の基盤技術を支えるネットワーク技術者を目指す「ネットワークコース」※を設置し、国際的に通用する技術者教育プログラムとしての認定を受けるための申請準備(来年度受審予定)を進めています。

(※2007年度入学生は、名称が「情報ネットワーク専修コース」となっています)

## 研究・教育設備

### 「大規模仮想計算機演習室」

学習者が自分で仮想計算機(仮想PC)を作成、しかも複数台同時に利用することができます。OSインストールやネットワーク環境設定なども、百数十人規模で同時・実践的に学習することが可能です。さらに、モバイルストレージ(小型軽量の大容量記憶装置)で自分の仮想PCを携帯・利用する新たなユーザモデルを提案し、その普及促進にも取り組んでいます。



### 「CG演習室およびデジタルコンテンツ制作環境」

CGやVRなどの映像系コンテンツの制作環境として「光学式モーションキャプチャシステムSTT」「機械式モーションキャプチャシステムGYPSY」「HD映像ノンリニア編集環境」を導入し、最新のHD編集環境を構築しています。この他にも、卒業研究などのプロジェクトを通じて、力覚デバイスや各種センサデバイスなどを利用した高度技術の活用にも注いでいます。



## 大学院教育

### 「高度な専門性をもつ講義・演習」

大学院生の修学は、研究室での各自の研究活動がメインになります。この他に、ICT分野に対する広い視野を持ち続けられるよう、より高度な講義・演習の履修も行っています。

### 「学会発表などの推奨」

研究の質を高める機会として学会発表を強く推奨しています。対外的な発表の中で行われる他機関の研究者とのやりとりを通じて、コミュニケーション能力をブラッシュアップしていきます。

### 「指導的役割の経験」

大学院生は、学部講義・演習でのTAや研究室ゼミ運営の補助などの機会を通じて、後輩への指導的役割を担っていきます。教示する立場としての経験は、チームリーダーとしての素質の形成にも役立っています。